

組織部速報

2021年3月11日
No.32

2021 JR総連春闘 第3回交渉（会社の考え方）を行う！

本で行われた第3回交渉にて、会社は現時点での考え方を明らかにしました。

- 社員の皆さんには新型コロナウイルス感染防止対策を行ないながら、指定公共機関としての任を担って頂いた。しかし、コロナ禍により社会経済活動が制限され、黒字を出す予定であった1月期計画に対し△15億円の減収となっている。
- 2年前に制度変更を行った新人事制度の中で、様々な点について待遇改善を行なってきている。
- 「来年度の計画は黒字が見込まれているが人件費は上がっていない」と指摘を受けた点について、人件費については業績に連動した賞与で反映する考えである。
- 要求の根拠である物価上昇率は、下がっている認識である。
- 以上の点から、昇給額表に記載されている昇給は実施するが、ベアについては実施できる状況にない考えである。

会社の考え方に対し中央本部は、以下の通り強く指摘しました。

- 組合員への還元は人事制度の変更及び賞与で還元する考え、と言われれば、ベアを否定する印象を受ける(怒)！考えを改めること！
そもそも、この間賞与で還元されたという実感も無く信用できない！
- 組合員の可処分所得は下がっており、生活は苦しいままである！
- 春闘は来年度の賃金を決める交渉である。新たな事業計画でより良い会社をめざすのであれば、それを担う組合員への先行投資が必要ではないのか？賃金が変わらないのに今以上に頑張れ、は通用しない！
- 現時点の会社の考え方では到底受け入れられない。再考を求めろ！

各職場から山場の闘いを盛り上げ、会社の姿勢を打ち崩そう！